



# 10月 園だより

令和2年度  
段原みみょう保育園  
No. 1

爽やかな秋風、高く澄んだ青空、大きく深呼吸をしたくなるような気持ちのいい季節になりました。今年度も早半年が過ぎ、4月に入園した子どもたちも保育者との信頼関係も十分に深まり、安心した環境の中で楽しく園生活を送っているなぁと実感するところです。

9月19日(土)は、幼児クラスの運動会を東雲本町公園で行いました。今年度は、6月から9月へ延期となり、コロナ対策として、全園児揃っての運動会とはせず、種目も減らしての実施でしたが、保護者の皆様からも「子どもたち一人ひとりのいきいきとした表情に感動しました」「がんばっている姿を見られて嬉しかったです」などのお声をたくさんいただきました。例年どおり多くの人に見ていただきたかったところですが、縮小という形でも実施できたことに喜びを感じています。

## お子さんの今の興味・関心は何でしょうか

さて、幼児クラスでは、朝と夕方にみんなで集まり、その日に何をして遊びたいか、また、続けて取り組んでいることをもっと上手くできるようにするにはどうしたらよいかなどを話し合う『サークルタイム』を設けています。運動会前には、年長組で「どうしたら速く走れるか?」ということテーマにみんなで話し合いをしました。子どもたちなりに手を大きく振る、牛乳をたくさん飲むなど意見がたくさん出たようです。今の子どもたちが社会へ出る未来は、知識だけに頼るのではなく、物事の本質をつかみ、課題を設定し、自分で解決していける人材が求められます。学校教育でも、教師が一方的に知識を教えるような受動的な教育ではなく、課題を発見し、その解決に向けて自らすすんで行動し、他者とともに学び、知識・技能の習得のみならず、思考力や表現力も高めていく学習(能動的学習=アクティブラーニング)が重視されています。

みみょうグループにおいては、主体的、協同的な学び(あそび)を大切にしたい保育をすすめています。乳児クラスでは、まだ一人でのあそびをじっくりと楽しむ頃ですが、0歳の小さな赤ちゃんも日々好奇心いっぱい、たくさんの発見があります。友だちと一緒に過ごす中で、年齢が増すごとにさまざまな刺激を受け、幼児クラスになってからは、同じ興味関心、目標などを抱いた子どもたちが集まり、自分たちであそびを繰り広げていきます。保育者が教えるのではなく、子どもたちは日常の中で体験したこと、知り得た知識をもとにあそびが繋がり、展開されたり、不思議だな、なぜ?と感じたことを友だちと一緒に考えていく、解決していく力をこの幼少期から身につけているのです。

これから、秋も深まり、比治山の魅力がさらに増す季節を迎えます。2歳・幼児クラスは比治山へ出かけ、自然の中での発見や楽しみを友だちと共有することでしょう。園内でのあそびもこれまで以上に充実していくのではないかと期待しています。

子どもたちのあそびや発見については、これからもきっぷノートや掲示にて発信していきます。お子さんが、興味を持っていること、夢中になって取り組んでいることをご家庭も保育園も一緒になって支えていきましょう。

園長